

平成29年度市長との小学校区意見交換会（五条川小学校区）議事録

平成29年10月29日(日)

午後3時30分～午後5時30分

五条川小学校体育館

出席者 一般市民 57名

市長、副市長、総務部長、市民部長、健康福祉部長、建設部長、消防長、教育こども未来部長、秘書企画課長、秘書企画課企画政策グループ長、健康課長、子育て支援課長、長寿介護課介護保険グループ長、事務局（協働推進課）

テーマ「子育て環境の充実」、「健幸長寿社会の実現」、「旧学校給食センター跡地について」、「その他」

1 あいさつ

2 市からの情報提供（教育こども未来部長・健康福祉部長）

3 意見交換

【意見等】 周りの30代・40代を見ていると皆さん結婚していない。子育て環境の充実と長寿社会の実現を考えると、婚活してもらって結婚していただき、岩倉に定住していただく必要があると思うが、何かビジョンがあれば教えていただきたい。

【総務部長】 結婚することが全てではないと思うが、市としてはそういったことは大事であると思っているため、今年度、結婚の良さなどをお伝えするリーフレットを作成する予定をしている。新成人の集い等で配っていき将来的な人生設計に役立てればと思っている。また、「28歳のつどい」という実行委員会形式の催しを行う予定もしている。現在、初婚年齢が30歳くらいが多いということもあり、その少し手前の28歳という設定をしている。また、来年の2月に友好交流市の大野市で、大野市と協力しながら婚活的なイベントを行っていきたいと検討している。なかなか直ぐに成果がでるものではないため難しい面もあるが、今後の人生を考えていく機会というものを設けていきたいと思っている。

- 【市長】 若い方が結婚していない理由として、「必要性を感じない」という人も多くいる。行政が、婚活というものに関わるということについて、少し疑問な部分もあるが、価値観の変化など社会的な背景があるかと思う。いずれにしても不安を取り除くことが重要であり、まだまだ課題が多くあると思っている。
- 【意見等】 保育園について、兄弟が一緒にの保育園に入れてもらえないと聞くが、どうなのかお聞きしたい。
- 【副市長】 最近このことはよく問題となっている。兄弟が別々の保育園となるのが不便であるというのは、そのとおりであると思う。ただ、いくつか要因もあるのではないかとも思っている。0歳児がいる兄弟となると、0歳児の受け入れをやっていない園がある。既に、0歳時の受け入れをやっていない園に行かれている子については、その下の子はどうしても別の園に行っていただくことになってしまう。また、1歳児についても職員1人に対して子ども4人で1クラスという受け入れ枠になっている。3歳になると職員1人対して20人で1クラスとなり、受け入れ枠が大きく違うため、なかなか難しい面もある。保育園に入る際には、基準点を設けて基準点の高い人から入っていただくようにしており、昨年からは兄弟がいる方の加点を上げた。今後できるだけ兄弟が同じ保育園に入れるよう努力はしていきたい。
- 【意見等】 五条川小学校の敷地内に放課後児童クラブを新しく建設されているが、その説明と、これに伴い第六児童館がどうなるのか教えていただきたい。
- 【市長】 現在、既に岩倉南小学校と岩倉東小学校で学校の余裕教室を改修して放課後児童クラブを実施している。児童が学校から児童館へ移動する際に危険な目に遭うこともあるので、そういったことを避けるため、学校内で行った方がいいと思い、順次進めさせていただいている。児童館については、青少年の健全育成など児童館本来の機能があるかと思っている。今の時点で、第六児童館をどうするかまだ方針としては出ていないので、地域の方々の意見等も聴きながら検討していければと思っている。
- 【意見等】 五条川小学校の放課後児童クラブについて、来年3月までで工事終了となっているが、4月から移すということではどうか。
- 【副市長】 岩倉南小学校と岩倉東小学校では余裕教室があったため、そこを改修して移した。五条川小学校では学童はまだ増加傾向にあり、第六児童館だけでは入りきれないので、小学校内に2階立ての専

用室を建設している。1階2階とも40人の受け入れで、合計80人が受け入れられるようになる。工事の予定としては、今年度中に工事が終わり、来年4月から行っていく予定ではあるが、工事の進捗状況により多少遅れるかもしれない。来年度中には移す予定をしている。

【意見等】 いわくらしやすいを実現するためには、子育て環境をもっと充実させる必要がある。まず、児童遊園について、井上児童遊園は、雨が降るとグラウンドが水浸しになっていたり、トイレが簡易トイレであったりと安心して遊べない。子育て支援センターについて、利用者の話を聞くと「駐車場が少ない。名古屋や岐阜ナンバーの車が停まっていることがある」と聞いた。もう少し子育て環境の整備をしっかりとやらしてもらえばいいのではないかな。

次に高齢者対策について、経験談として、徘徊している高齢者に声かけを行い、いろいろ話をしていたら、途中で電話番号を思い出したということがあった。認知症問題に対するアプローチの仕方について、もっと地域の方々に浸透させていただくといいのではないかな。また、高齢化の施策について、間違っているのではないかと感じている。各区で高齢化率も異なり、各区で必要な施策が異なると思う。その地域に沿った施策が必要ではないかな。今後も安心して生活ができるようしっかりと行っていただきたい。

【市長】 市の児童遊園は借地が多く、いろいろと制約があるかと思う。また、市民1人あたりの公園の面積が他市と比べると少ないのが現状である。母親世代に話を聞くと、車移動が多いので必ずしも近くに公園がなくてもいいといった意見も聴く。いずれにしても、公園は人々が集い、絆が生まれる重要な施設であると思うので、これからも努力していきたい。

【意見等】 市の公園管理について、都市公園と児童遊園の管轄部署が違う。都市公園はきれいだが、児童遊園は整備されていない。なぜ、都市公園と児童遊園を分けて管轄するのがよく分からない。もう少し効率よく運用するべきではないかな。

【市長】 小牧市では、都市公園も児童遊園も同じ部署が管轄している。市民の皆さんから見れば同じ公園であるというのも理解できるので、今後も検討していきたい。

子育て支援センターの駐車場の件について、目的外の利用がされているのであれば、きちんと対応しなければならない。駅近くでもあり土地を探すのも難しいが引き続き努力をしていきたい。

認知症対策については、まずは地域ぐるみで対応していただくことがとても大切であるため、これからもお願いしたい。また、各地域にあった高齢化施策についても、きめ細かなサービスや対策が必要であると思うので、これからも皆さんの話を聴きながら対応していきたい。

【意見等】 高速道路より北側には買い物をするところが一切ない。高齢の方が住んでいるなかで、外でコミュニケーションをする上でもお店がないと、そのような機会もなかなかない。春日井市や田舎の市町村では、移動販売みたいな取り組みを行っている。岩倉市の場合は面積が小さいため難しいかもしれないが、近隣の市町と連携して、移動販売みたいな取り組みができないか。

【市長】 春日井市の例が出たが、春日井市は高蔵寺ニュータウンではないかと思う。高蔵寺は昭和40年代初めに開発され、現在高齢化率が高くなっている地域である。また、高蔵寺は坂が多く高齢者にとって移動しづらい面もあり、移動販売といった取り組みが行われているのではないかと思う。岩倉市においては、感覚的にまだ移動販売は必要ないのではないかと思うが、考えていないという訳ではないので、参考とさせていただきたい。

【意見等】 石仏駅の再開発を予定しているということで、それと併せて移動販売みたいな取り組みができたらいのではないかと思い提案させていただいた。

【市長】 今後の参考とさせていただく。行政としてやるべきことと、民間に任せるところを見極めながら判断していきたい。

4 旧学校給食センターについて市からの情報提供（秘書企画課企画政策グループ長）

5 意見交換

【意見等】 土地の売却は絶対にしてほしくない。あの場所は市民の皆さんが使える場所に是非していただきたい。

【市長】 皆さんの意見を聴きながら検討していきたい。今日この場で返事することは難しいと思うので、皆さんから多くの意見を聴ければと思っている。

【意見等】 跡地の整備に併せて、五条川小学校の横に小さな歩行者専用の

橋を作って、跡地と連携して活用することはどうか。岩倉駅では、岩倉駅からお祭り広場までが一つゾーンとなって桜まつりのときなどに活用されている。そのイメージで、給食センターの跡地に広場を作り、石仏駅から広場まで全体を踏まえて考えられないか。これにより、石仏駅東側の改札等も整備できるのではないかと考える。お祭り広場と同じような形で整備していき、北の広場と南のお祭り広場をつなげてウォーキングゾーンにするのはどうか。

また、五条川の堤防道路は座るところがないと聞いている。そういうところも含めて、いろいろな建物をつくらなくてもいいので、腰をおろすことができる場所があるといいのではないか。

【総務部長】 市民討議会の意見の中でも歩行者専用の橋を作るという提案をいただいた。市民討議会で出た提案も、今回の場に出た提案もどちらも、できるかどうかは別ではあるが、意見として真摯に受け止めていきたい。

また、現状の五条川の堤防道路の使われ方、休憩する場所の確保など、いろいろな意見を踏まえたうえで取りまとめをしていきたい。堤防道路についても兩岸を整備して20年以上経過しており、ハード面の老朽化もあるかと思うので、建設部と連携をとりながらしっかりとやっていきたい。

【意見等】 自分たちで、旧給食センターの近隣の方にアンケートをとった。その中では、「三世代の人が使える公園がほしい」、「五条川左岸は休憩するところが少ないので、休憩・集える場所がほしい」、「児童遊園があるとうれしい」という意見を多くいただいた。

【総務部長】 アンケート結果を見せていただき、今後の参考とさせていただきます。

【意見等】 以前、北名古屋市に住んでいて、北名古屋市では子育て施設が充実しており、保育園もいつも開放されており、すごく子育て環境が充実していると感じた。岩倉に戻ってきて感じたことは、岩倉市は小さな子を連れて母親が交流する場所が少ないなと感じる。子育て支援センターもあるが、少し遠いため子どもを連れていくのも大変である。気軽にいつでも通える場所が近くにできたらいいなと思う。

子ども発達支援施設としてあゆみの家があるが、定員いっぱいではなかなか相談がしたくても待ちの状態が多くあった。また、施設自体も大きな場所ではないので、旧給食センター跡地に、子育て支援センターのような施設でもいいので、障がいのある子を持った人

が相談できる場所があるといいなと思った。

【市長】 旧給食センター跡地についていろいろとご意見・ご提案をいただきありがとうございます。しっかりと受け止めて今後の参考とさせていただきます。

6 その他

【総務部長】 石仏駅の関係について、市の動きを説明させていただく。現在、市では石仏駅の東側に改札を作れないかと予算化も行い、計画策定をしている。

このことに関しては、以前から地域の皆さんから要望もいただいております。市としてはホームが狭いことも認識しており、市単独ではなく近隣市町を含めた連名の形でホームの拡幅ということで名鉄に対して要望も行ってきている。その後、平成25年2月の4地区の区長から石仏駅に関する要望をいただき、市全体として最重要項目として扱ってきている。ただ、実態とすると駅ホームの拡幅は費用面の問題があり、なかなか動けていない。市としても継続的に話はさせていただいている。また、それ以外にバリアフリー化の問題もある。バリアフリー化については、平成32年までに名鉄が1事業者として取り組むものでもある。また、昨年10月くらいには名鉄より現状の敷地では駅東側の改札は難しいという回答をいただいた。これを受け、市としては駅東側の用地の買収も検討しながら、どうすれば改札が設置できるか、交通の面等も考慮して、現在基本計画・基本構想の策定をしている。

【意見等】 6年ぐらい前から石仏駅の改札等について署名活動を行ってきたりしたが、大きな展開がありそうでうれしく思っている。地域住民は、1日でも早く実現できることを願っているのでもよろしく願いしたい。

【意見等】 子育て支援の充実に関して、現在、市が子育て関連にかけている予算はどれくらいか。将来の子どもたちのために、しっかり環境を整えるべきである。20代・30代・40代の子育て世代を中心に、もっと集中して投資していかないと成果はでないと思うがどうか。

【市長】 市全体の平成29年度一般会計予算140億円のうち児童福祉費として約29億円程度の予算をつけている。全体の割合で言うと約21%である。ご意見のとおり、子育て環境の充実は、日本中の課題であり、国においても保育料の無償化などの話もでてきている。これには、国・県・市町村の役割がそれぞれあると思っている。市とし

ては、地域の皆さんと寄り添った伴走型の支援をしていきたい。これは、子育て支援に限らず全てに対して伴走型の支援が重要であると考えている。また、バランスのよい政策推進も必要であるため、市民のニーズと財政状況を考えながら進めていきたい。

【意見等】 バランスよくすると焦点がぼけてしまう。若い人たちに来てもらうためには、施策を絞って行うことも大切であると思う。

【市長】 子育て環境の充実は、私のマニフェストの一番にも挙げさせていただいた。これは、子育て環境の充実に一番力を入れたいという私の意思表示であると思っている。

【意見等】 石仏駅のバリアフリー化について期待しているが、利用者の当事者として、各施設も含めバリアフリー化にどのように関わることができるのか教えていただきたい。できあがる前に言わないと意味がないと思う。

【総務部長】 個々の施設に関しては、担当課に直接行っていただければ、できる範囲で対応させていただきたい。また、市民の声等もあるため利用していただければと思っている。

また、市では「岩倉市ユニバーサルデザイン振興指針」を策定して進めさせていただいて、ユニバーサルデザインに関しては早くから取り組んでいる。

【意見等】 施設ができあがる前に関わりたい場合は、直接担当課に伝えればよいか。

【総務部長】 施設ができてからよりできる前に直接担当課に言っていただいた方がよい。また、市民参加の手続きは重要視しているため、このような機会であったり、パブリックコメント等も行っているので利用していただきたい。

【意見等】 全体的な話として、公共施設を新たに作ると将来的に維持管理等でお金がかかり、後世につけを残すことにもなる。そういった面も視野に入れて、将来多額の借金を残すことなく、市民のためになるようなことをしていただきたい。

バリアフリー化についても、大切なことでありやっていただきたいが、多額のお金がかかると思う。そこも検討して今後考えていてほしい。ただ、バリアフリーに関しては、当然必要なことである。

【市長】 当然、将来の資金計画を立てながらやっていかなければならないと思っている。財政的な部分と皆さんの要望とを踏まえて、今後検討させていただきます。

【総務部長】 石仏駅の構内のバリアフリーについては、駅構内であるため基

本的には名鉄が行うものである。それ以外の部分という面で石仏駅東側の整備を市が行っていかうというものであり、石仏駅のバリアフリー化と石仏駅東側の整備は少し別のものとして整理させていただいている。実際には今後、基本計画・基本構想をもとに考えていきたい。

午後5時30分終了